

基本目標3 まちの魅力を高め、発信し、住み続けたいくなるまち

(1) 地域資源を活用し、シティプロモーションによる交流・関係人口の拡大

まちづくりを市民とともに進め、若者や市内外の人が参加・活動・協力する仕組みや人材を育成するとともに、ひと・もの・ことなどの地域資源を有効活用し、その情報を共有します。若い世代の情報発信力を積極的に活用し、多様な情報発信手段により本市ファンを確保するため、ターゲットを絞って効果的なシティプロモーションを展開し、交流・関係人口の拡大を図ります。

【具体的施策】

①地域資源やイベント等の連携による交流・関係人口の拡大

本市には自然・歴史・文化・伝統に基づく多彩で優れた観光コンテンツ、大型ホテルの立地、良好な交通アクセス環境等の好条件が備わっており、ジョン万次郎上陸の碑や糸満市場いとま〜る、情報発信・体験・交流の拠点となる「くる糸満」など新たな観光施設の整備も進んでおり、これらの地域資源やイベント等を活用することにより、交流・関係人口の拡大を図ります。

《具体的取り組みや事業》

- | | |
|------------------------------|------------------|
| ●「道の駅いとまん」情報館管理事業(再掲) | ●観光農園推進事業(再掲) |
| ●糸満市場いとま〜る管理事業(再掲) | |
| ●糸満市観光文化交流拠点施設「くる糸満」整備事業(再掲) | |
| ●美々ビーチ・フィッシャリーナ管理事業(再掲) | |
| ●漁港施設・関連施設の整備促進 (再掲) | ●大度園地・周辺海岸総合整備事業 |
| ●海のふるさと街づくり施設公園管理事業(再掲) | ●沖縄らしい風景づくり事業 |
| ●ラウンドアバウト普及促進事業 | ●都市公園・運動公園管理事業 |
| ●グリーンスローモビリティ活用事業 | ●南山城跡等保存調査事業(再掲) |
| ●糸満ハーレー、糸満大綱引等観光行事支援事業 | ●糸満ふるさとまつり推進事業 |
| ●南部豊かな海づくり大会 | ●いとまん平和トリムマラソン |
| ●市民活動支援センター運営事業(再掲) | ●市民提案型まちづくり事業 |
| ●ふるさと応援寄附制度推進事業 | ●市史編纂事業 |
| ●真栄里区画整理地区の整備(再掲) | ●南部病院跡地の有効利用(再掲) |

②首都圏等へのPR

新たな情報発信拠点施設も活用しながら、観光スポット、イベント情報、特産品、交通アクセス、宿泊施設等の本市の豊かな資源に観光資源として光をあて、魅力ある観光地づくりを推進します。これらの情報をさまざまな媒体を活用して発信し、首都圏等への効果的なプロモーションに取り組みます。

あわせてふるさと応援寄附制度を活用したPR活動に取り組むことにより関係人口の拡大を促進します。

《具体的取り組みや事業》

- | | |
|------------------|----------------------|
| ●地場産品販路拡大事業 (再掲) | ●ふるさと応援寄附制度推進事業 (再掲) |
|------------------|----------------------|

●プロモーション推進事業（若者を活用した SNS 等による発信）

【KPI（重要業績評価指標）】

指標名	基準値 (H30 年度)	目標値 (R7 年度)
市民活動支援センター利用者数 [人]	1,342	1,630
観光ガイド登録人数 [人]	13	20
ふるさと応援寄附金 [円]	5,580 万	5 億



糸満市物産センター遊食来



ジョン万次郎上陸の碑

（２）多様な交流活動の推進

平和祈念祭をはじめ、平和の尊さを内外に発信する事業の展開や、海などの自然資源、宿泊施設、運動施設等の集積をいかしたレジャーやスポーツコンベンション、滞在型観光の推進により、市外の方との多様な交流を図ります。また、こうした交流を通じて本市の魅力を広く情報発信し、交流人口の増加につなげます。

姉妹都市・友好都市等の交流については、行政や各種団体、市民団体等による教育、スポーツ、文化、産業などの幅広い分野での交流を推進します。

【具体的施策】

①平和をテーマとした交流機会の充実

本市は先の大戦における沖縄戦終焉の地であり、戦跡や慰霊碑は平和の尊さを実感できる学習の場となっています。平和推進事業実施計画を策定し、平和ガイドの育成など平和を語り継ぐ取り組みを推進するとともに、平和の継承ができる仕組みを関係団体等と連携し構築します。平和情報ネットワーク体制の発展のため、県や他市町村および関係機関とのネットワークをいかした事業を展開し、情報共有の強化を図ります。

《具体的取り組みや事業》

- いとまん平和トリムマラソン（再掲）
- 平和祈念祭推進事業
- 平和ガイド育成事業
- 平和情報ネットワーク体制の発展
- 戦争遺構保全・活用整備事業
- 戦時記録（記録映像等）の活用促進
- 糸満市観光文化交流拠点施設「くくる糸満」整備事業(再掲)
- 平和推進事業実施計画策定事業

②スポーツ、レジャーによる多様な交流の推進

空港から近い立地およびスポーツ施設が整った環境を活用して、プロ・アマチームのキャンプや合宿および誰もが参加できる全国大会の誘致・開催を推進します。本市の魅力をいかしたスポーツツーリズムを推進するために、全国大会誘致やイベント開催にむけた環境整備を進め、選手や観戦者等の宿泊・観光等の受け入れ体制の構築を図り、スポーツを通じた多様な交流を推進します。また、各拠点施設や関係機関と連携を強化し、恵まれた自然環境や気候、ロケーションをいかしたレジャーニーズにも対応していきます。

《具体的取り組みや事業》

- 西崎運動公園・体育施設機能強化事業
- 生涯スポーツ推進事業
- 各種スポーツ大会開催事業
- スポーツコンベンション推進事業
- いとまん平和トリムマラソン（再掲）
- 観光農園推進事業（再掲）
- 美々ビーチ・フィッシャリーナ管理事業（再掲）

③官民連携による滞在型観光の推進

自然、歴史文化、伝統行事などの地域資源をいかした糸満市観光の新たな魅力づくりの推進、利用者目線での観光商品開発や受け入れ体制強化、効果的なプロモーションによる近隣市町と連携した広域観

光を推進するとともに、多様なメニューの開発や糸満市観光農園などの既存施設等の活用、観光関連事業者等との連携による受け入れ体制の整備、ユニバーサル観光・新たな旅行スタイルへの対応などにより滞在型観光を推進します。

《具体的取り組みや事業》

- 「道の駅いとまん」情報館管理事業（再掲）
- 糸満市場いとま〜る管理事業（再掲）
- 大度園地・周辺海岸総合整備事業（再掲）
- 糸満市観光文化交流拠点施設「くくる糸満」整備事業（再掲）
- 漁港施設・関連施設の整備促進（再掲）
- 沖縄らしい風景づくり事業（再掲）
- 都市公園・運動公園管理事業
- 糸満ハーレー、糸満大綱引等観光行事支援事業（再掲）
- 体験交流促進事業
- 民泊受入体制強化事業
- 糸満ふるさとまつり推進事業（再掲）
- 南部豊かな海づくり大会（再掲）
- いとまん平和トリムマラソン（再掲）
- 南山城跡等保存調査事業（再掲）
- 新たな旅行スタイルへの対応（ワーケーションなど）
- 観光農園推進事業（再掲）
- 美々ビーチ・フィッシャリーナ管理事業（再掲）
- 海のふるさと街づくり施設公園管理事業(再掲)
- ラウンドアバウト普及促進事業（再掲）
- プロモーション推進事業（再掲）



民泊で受け入れた修学旅行生とのカチャーシー

④姉妹都市・友好都市等との交流

姉妹都市、友好都市等との交流については、行政のみならず、市民交流や事業者等の交流も拡充・支援しながら、さらなる交流の和を広げていきます。

《具体的取り組みや事業》

- 姉妹都市・友好都市との交流
- 芸能交流・経済交流機会の充実
- 糸満フェア（物産交流）
- 民泊受入体制強化事業（再掲）

【KPI（重要業績評価指標）】

指標名	基準値 (H30 年度)	目標値 (R7 年度)
糸満市平和ガイド人数 [人]	103	150
全国大会・合宿誘致数 [件]	12	15
市内主要ホテルの観光客延べ宿泊者数 [人]	296,608	600,000

(3) 安心して元気に暮らせるまちづくりの推進

地域の活力は「ひと」から生み出され、訪れたい、住み続けたいと思える地域には、コミュニティや人々の支え合いがあります。人口減少や核家族化によるつながりの希薄化を防ぎ、元気な地域を維持していくために、自治会や各種団体等の多様な主体と連携して防災体制の充実を図りながら地域課題解決に取り組みます。このような取り組みを通じて、女性や障がい者、若者等を含め将来の「地元」を担う人材を育成する体制づくりを推進します。

【具体的施策】

①地域の未来を支える人づくりと地域づくり

市民力を強化し、魅力的な地域を創出するために、自治会などの地域コミュニティや各種団体などの市民活動を支援する取り組みを推進します。個性あるコミュニティの創出と強化を図り、市民活動支援センターと連携した地域活動や市民活動支援を促進します。また、市民活動支援センターの機能強化を図り、地域間交流や「地域共生社会」を啓発促進し、地域課題を解決できる人材の育成やまちづくりへ参加する意識の醸成を図ります。



市民活動支援センターの活動風景

《具体的取り組みや事業》

- 市民活動支援センター運営事業（再掲）
- 市民提案型まちづくり事業（再掲）
- 自治公民館連携推進事業
- 各社会教育団体の活動支援

②安心・元気・暮らしやすい地域づくり

安全・安心な暮らしを守るため、市民の意識向上や地域防災力の強化を図ります。自主防災組織の結成支援や地域防災リーダーの育成を推進し、地域における防災訓練を実施します。要配慮者・要支援者の支援体制を構築し、市民防災力の強化や備える意識の向上に取り組めます。また、深刻な被害を生んだ新型コロナウイルス感染症に対しても、感染拡大防止には市民の行動が大きく寄与することから、正しい知識の普及に努めます。



自主防災会

今後増加する交通弱者の移動手段の確保も必要です。デマンドバス等の本格運行にむけた活動展開など、効率的で持続可能な公共交通網の整備に取り組めます。

《具体的取り組みや事業》

- 自主防災組織合同訓練等
- 地域防災リーダーの育成
- 要配慮者・要支援者の支援体制の構築
- 効率的で持続可能な公共交通の整備

③移住希望者の相談・サポート体制の構築

全国的に首都圏等を離れ、地方の暮らしを希望する人が増えています。特に、コロナ禍において生き方や働き方の多様化が進み地方への移住ニーズは増加傾向にあります。移住・定住を円滑にするために、民泊などの地域資源を最大限に活用しながら、行政・市民・産業などの地域全体で認識を高め合う連絡会を開催し、移住希望者の相談・サポートなど受け入れ体制の構築に努めます。

《具体的取り組みや事業》

- 関係課、各種団体、市民活動支援センターによる連絡会の開催
- 自治会加入促進にむけた啓発活動



【KPI（重要業績評価指標）】

指標名	基準値 (H30 年度)	目標値 (R7 年度)
自主防災組織の結成 [組織]	8	17
自治会結成率 [%]	94.5	95.0
自治会加入率 [%]	53	60